

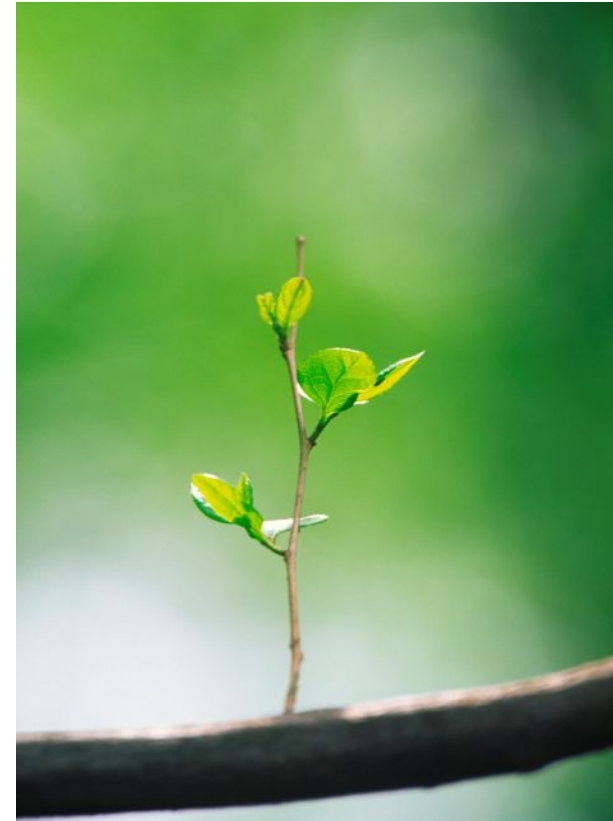
インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年3月28日
聖日礼拝

受難週に入る

「この人を見よ」

ヨハネの福音書19章1-9節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの福音書19章1-9節

- 1 そこで、
ピラトはイエスを捕えて、
むち打ちにした。
- 2 また、兵士たちは、
いばらで冠を編んで、
イエスの頭にかぶらせ、
紫色の着物を着せた。

3 彼らは、イエスに近寄っては、
「ユダヤ人の王さま。
ばんざい。」と言い、
またイエスの顔を平手で打った。

4 ピラトは、
もう一度外に出て来て、
彼らに言った。
「よく聞きなさい。
あなたがたのところに
あの人を連れ出して来ます。
あの人に何の罪も見られないと
いうことを、
あなたがたに
知らせるためです。」

5 それでイエスは、
いばらの冠と紫色の着物を
着けて、
出て来られた。
するとピラトは彼らに
「さあ、この人です。」
と言った。

6 祭司長たちや役人たちは
イエスを見ると、
激しく叫んで、
「十字架につけろ。
十字架につけろ。」と言った。
ピラトは彼らに言った。
「あなたがたがこの人を引き取り、
十字架につけなさい。
私はこの人には
罪を認めません。」

7 ユダヤ人たちは彼に答えた。

「私たちには律法があります。

この人は自分を神の子としたの
ですから、

律法によれば、

死に当たります。」

8 ピラトは、

このことばを聞くと、

ますます恐れた。

9 そして、また官邸には行って、
イエスに言った。
「あなたはどこの人ですか。」
しかし、
イエスは彼に何の答えも
されなかった。

説教

受難週に入る

「この人を見よ」

ヨハネの福音書**19章1-9節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「それでイエスは、
いばらの冠と紫色の着物を
着けて、出て来られた。
するとピラトは彼らに
『さあ、この人です。』
と言った。」

(ヨハネ19:5)

始めに：

エッケ・ホモ(この人を見よ)

(絵図①)



17世紀イタリア人画家 Guido Reni のエツケ・ホモ

1. 19章の背景

- ・ 主イエスの裁判の過程：
金曜日の早朝6つのステージで
裁判を受ける

(表①)

主イエスの受けられた裁判

	時間	場所	誰に？	何を？
1	(金曜日) 夜明け前	アンナスの家	アンナス (大祭司の舅)	教えの妥当性
2	夜明け頃	カヤパの家	カヤパ (大祭司) と 議会指導者	キリストか？
3	夜明け後	サンヒドリン 議会	全議員	冒とく罪
4	早朝	ピラトの官邸	ピラト (ローマ総督)	反逆罪
5	早朝	ヘロデの宿舎	ヘロデ (ガリラヤ分邦国王)	管轄権
6	早朝	ピラトの官邸	ピラト (ローマ総督)	判決 (鞭打ちと十字架刑)

- ・ **ステージ6に至るまで(ヨハネ18：13、24、28、19:1)**

2. ピラトの示した「この人」

- 鞭打たれた「罪人」
- 茨の冠と紫の衣の「王様」
- 平手打ちに痛んだ顔
- 罪のない人

3. 祭司長たちの見た「この人」

- 冒涇者：自分をメシヤ
（神と等しい存在）と主張
- 反逆者：ローマ体制への反逆者
- 憎い人：憎しみと嫉妬

4. 私たちの見る「この人」

- 忍耐の人：
辱めと苦しみを厭わず
- 意志の人：御心に従う決意
- 愛の人：
血潮の一滴々々が愛の迸り

おわりに：

感謝と信仰と献身をもって
聖餐式に臨もう